

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-83C	22-004	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol consumption, blood DNA methylation and breast cancer: a Mendelian randomisation study 飲酒、血中 DNA メチル化と乳がん：メンデルランダム化研究		
<b>執筆者</b>		
Zhou X, Yu L, Wang L, Xiao J, Sun J, Zhou Y, Xu X, Xu W, Spiliopoulou A, Timofeeva M, Zhang X, He Y, Yang H, Campbell H, Zhang B, Zhu Y, Theodoratou E, Li X.		
<b>掲載誌</b>		
Eur J Epidemiol. 2022 Jul;37(7):701-712. doi: 10.1007/s10654-022-00886-1.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
アルコール、DNA メチル化、乳がん、メンデルランダム化	35708873	
<b>要旨</b>		
<b>目的：</b> 飲酒と乳がんとの因果関係を明らかにするために、前向き研究のメタ解析と、メンデルランダム化研究を行った。		
<b>方法：</b> 観察的関連を明らかにするために前向き研究の最新のメタ解析を行った。また、週あたり飲酒量および病的な飲酒行動（アルコール障害と問題飲酒）への遺伝的素因を元にしたメンデルランダム化分析、血中のアルコール関連 CpG 部位における DNA メチル化についても検討した。		
<b>結果：</b> 飲酒と乳がんの観察的な量反応関係については、飲酒量 10g 上昇あたり 4% のリスク増加を認めた。遺伝的に規定された飲酒量は乳がんリスクと関連しなかった。しかし問題飲酒は乳がんリスクと関連した（オッズ比 1.76）。エピジェネティックなメンデルランダム化分析では、4カ所の CpG 部位において、エピジェネティックな修飾が乳がん罹患リスクの上昇を示した。		
<b>結論：</b> 飲酒は、少量であっても乳がんリスクの上昇と関連し、また、飲酒による乳がんリスク上昇は病的飲酒行動およびいくつかの CpG 部位のエピジェネティックな修飾が関与することが示された。		